

平成22年1月25日

お知らせ

資料提供先

県政記者クラブ
県政記者会
県政滝町記者クラブ

国道188号通津交差点(岩国市)について 交通事故対策のための検討会を開催(第2回)

～地域・利用者の視点で効果的な交通事故対策を立案～

国道188号通津交差点(岩国市)において、交通事故対策のため、地域のさまざまな立場の方からご意見を伺い、交通安全対策を立案、展開するため検討会を開催します。

【日時】平成22年1月29日(金)13:30～

【場所】岩国市通津公民館 会議室

【内容】今回の検討会では、第1回検討会にて頂いたご意見を踏まえて立案した交通安全対策(案)について意見交換を行い、対策案をとりまとめることとしています。

※ 詳細は別添のとおり

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

電話番号(0835)22-1785(代表)

副所長(管理担当) いもおか としあき 芋岡 利昭

【担当】交通対策課 こんたに まさのり 紺谷 正紀

【広報担当】計画課 やまうち かずのり 山内 和則

岩国市 都市開発部 幹線道路整備推進室

電話番号(0827)29-5163

室長 まつむら ますみ 松村 眞澄

交通事故対策のための地区検討会 (第2回 国道188号 岩国市 通津交差点整備検討会)

1. 主旨

当該交差点は、交差角が鋭角となっています。また、右折レーンがないことから、右折車両がセンターラインを逸脱して停車しており、さらに急カーブ区間で視距が悪いため、追突事故等が発生しやすい要因が多い交差点です。

また、隣接する工業団地への通勤に利用されるなど、地域住民の関わりが深く、その安全対策について早期の整備が強く求められています。

こうしたことから、国土交通省山口河川国道事務所では、より生活実感を反映した交通安全対策を立案、展開するため、道路利用者(地域の方々)、交通管理者(警察)、道路管理者(国・市)の三者による意見交換を行う場として、「国道188号通津交差点整備検討会」を設置し、地域参加型の交通安全事業を進めています。



▲右折車が滞留している様子



▲交差点柳井側の下り坂の急カーブの様子

2. 第2回検討会の開催(平成22年1月29日(金) 開催)

第2回検討会では、第1回にて頂いたご意見を踏まえて立案した交通安全対策(案)について意見交換を行い、対策案をとりまとめることとしています。

■1月29日(金)の予定

- | | |
|--------------------|----------|
| (1) 第1回地区検討会での意見確認 | (13:30~) |
| (2) 対策検討結果の報告 | (13:40~) |
| (3) 対策案に関する意見交換会 | (14:10~) |
| (4) 対策案のとりまとめ | (14:45~) |
| (5) 終了 | (15:00) |

※()は概ねの時間

3. 検討会メンバー

- コーディネーター : 徳山工業高等専門学校准教授
- 地元関係者 : 自治会代表者等
- 通勤利用者 : 工業団地関係者
- 運送事業者 : トラック協会、バス事業者
- 行政関係者 : 岩国警察署
- 道路管理者 : 岩国市、国土交通省

4. 開催場所

岩国市通津公民館(岩国市通津 2571-5)
電話番号(0827)38-1001



《参考》 国道188号通津交差点整備検討会(第1回)開催結果

第1回地区検討会の概要(平成21年12月4日開催)

第1回の地区検討会では、16名の検討会メンバーにより、現地での点検を行った後、熊野稔・徳山高専准教授のコーディネーターのもと、ワークショップ形式(2つの班)で、課題と対策案に関する意見交換を行いました。



▲現地点検の様子



▲ワークショップ(意見交換)の様子



▲意見発表の様子

【主な意見(課題)】

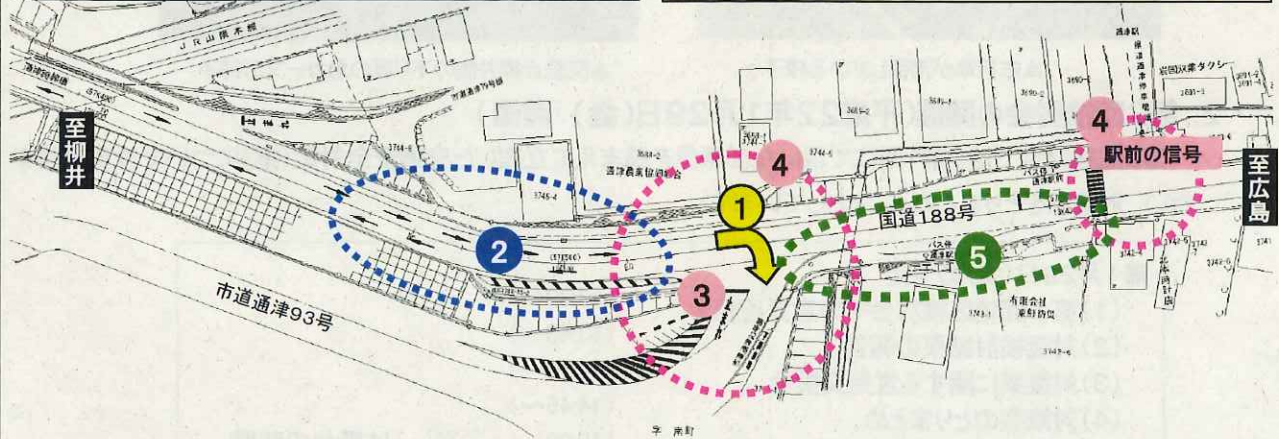
参加者からは、「交差角が鋭角で出入りにくい」「急カーブ区間で見通しが悪い」などの課題とともに、その対策として、次のような提案をいただきました。

②カーブ区間の線形改良

- ・柳井方面から、カーブ先の信号や停車面が見えない。
- ・下りでスピードが出やすく、中央線をはみ出す。
- ・段差舗装(速度抑制)も考えられるが騒音が課題。

①右折レーンの設置(柳井方面から工業団地方面)

- ・右折車が中央線をはみ出して停止。(後続車が左側を進もうとするため)
- ・右折車に後続車が追突する危険性あり。



③鋭角な交差点角度の改善(T字の交差点に改良)

④信号機の設置(駅前の信号機の移設も含めた調整)

- ・市道から国道左折が鋭角で、大型車は曲がりにくく、中央線をはみ出す。
- ・市道から国道に向け、上り坂となっており、前進しないと左右が確認できない。隣接信号の位置が悪い。

⑤バス停の移動(広島側)と左折レーンの設置

- ・バスが停車していると市道からの車が見えない。
- ・広島方面から市道への左折車が多いが、左折車を避けようと中央線をはみ出す車あり。